

きじむんの どう〜ちゅいばにい〜 文庫紹介編

第8回:Kerr(カー)文庫



キーワード：ジョージ・H・カー

はいたーい&はいさーい! しむちちや、いっぺーいしちやいびーんやーさい (こんにちは〜11月はとてもいい季節ですね)。今月はKerr (カー) 文庫をご紹介します!

●ジョージ・H・カー (George Henry Kerr, 1911-1992)

ジョージ・H・カーは米国ペンシルバニア州出身の歴史学者です。学生時代、学友に東洋人がいたため東洋の歴史に興味を持つようになりました。1935 (昭和10) 年、ハワイ大学修士課程を修了後、助成金を受けて来日。日本史研究を続けながら、書画骨董への造詣を深めました。1937 (昭和12) 年、台北第一中学校の英語教師として台湾へ赴任したカーは、金関丈夫 (かなせき たけお) ほか台北帝国大学の教授、南風原朝保 (沖縄県出身の医師)、川平朝申たちと知り合い、沖縄の歴史や文化へ関心を高めました。戦時中は情報将校としてアメリカ軍勤務、コロンビア大学内の海軍軍政大学・台湾調査班の責任者に就任しました。戦後は台北領事館副領事に就任しましたが、国民党を批判したため、二・二八事件がおこるとやむなく帰国しました。その後はワシントン大学、フーバー研究所等で勤務。米陸軍の琉球列島科学調査プロジェクトに参加し、1956 (昭和31) 年『琉球の歴史』を著しました。また、1960 (昭和35) 年〜1962 (昭和37) 年にかけて行われた「Ryukyu Cultural Survey (琉球列島文化調査)」にも参加しました。1992 (平成4) 年、移住先のハワイで81歳で亡くなりました。



George Henry Kerr
南風原村照屋 (当時) にて

●琉球大学附属図書館へ寄贈された Kerr 文庫

本学附属図書館は、1955 (昭和30) 年〜1987 (昭和62) 年にかけて数回にわたり、同氏より蔵書・写真・その他資料を寄贈されました。寄贈された写真資料については、近年アーカイブとしての重要性が理解されてきており、「Ryukyu Cultural Survey」で撮影された1960年頃の県内各地の写真は、戦後復興の様子を写す資料として注目されています。図書館では同氏が寄贈された資料、特に写真資料の整備をすすめ、幾つかの企画展で公開し、いずれも好評

を博しています。今年も Kerr の写真を、次の企画展で公開します。お待ちしておりますよ〜! (NK)



扁額「世濟其美」
C.S.A.M.P. 社
(平成二十六年企画展展示資料)

狩俣集落の石屋 (平成二十七年企画展展示資料)



企画展「琉球大学資料にみる 奄美群島の自然と暮らし」

日時：2016年11月15日 (木) - 11月27日 (日) 午前9時〜午後6時

場所：瀬戸内町立図書館・郷土館 TEL0997-72-3799 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 1283-17

※日・祝祭日は午後5時まで。11月21日は休館日です。

参考文献：豊平朝美「琉球大学附属図書館のあゆみ -シリーズ⑥-」『琉球大学附属図書館報 びぶりお』Vol.32 No.3 琉球大学附属図書館 1999、ジョージ・H・カー (蕭成美 訳)『裏切られた台湾』同時代社 2006、「宮城悦二郎写真資料」『沖縄県公文書館だより ARCHIVES』第36号 沖縄県文化振興会資料課 2009